

KYT

Kiken
危険

Yochi
予知

Training
トレーニング

2026.2.8



岡崎市子ども会
育成者連絡協議会

1

安全 + 第一

身体的安全
心理的安全

2

<経済様式20

公益社団法人 全国子ども会議協会 郡中 南郷の町区町村等子連に提出いたします。

全国子ども会議安全啓発事故第一報報告書
(死亡・後遺障害・医療)

市区町村等子連 南郷の町区町村等子連 提出日欄の内訳で記入願います。
R5R・学区、単位子ども会議等は必要に応じて記入してください。

都道府県・指定都市
子連地付番 文京市子ども会議連済協議会

(提出日) 令和 年 年 年 月 日

| | |
|---------|--------------|
| 代表者 | 栗原 次郎 |
| 担当者 | 桂津 花子 |
| 連絡先電話番号 | 0XX1-23-4560 |

事故内容

| | | | | | |
|---------|--|-------------|-------------|-------------|--------------|
| 報告者 | 栗原 次郎 | 報告者 との関係 | 関係者 | 連絡先 電話番号 | 0XX1-23-1313 |
| 事故日 | 令和 <input type="radio"/> 年 <input type="radio"/> 月 <input type="radio"/> 日 (日) | 時刻 | 10:30 | 天候 | 晴れ |
| 学区・地区 | 大塚地区 | 単位子ども会議番号 | 000-001-001 | | |
| 単位子ども会議 | 大塚子ども会議 | 性別 | ♀ | 10歳 | 小学4 学年 |
| 行 事 名 | ソフトボール練習 | | | | |
| 発 生 場 所 | 文京第一小学校 グラウンド | | | | |

事故の状況 (原因・経過・結果・療養の状況)
ソフトボールの試合形式の練習中、ヒットを打ってファーストベースからセカンドベースにすべりこんだ。その際に、右足がセカンドベースにあたり、グッと音がして倒ってしまった。アキレス腱を挫いて痛みを訴えたが、なかなか痛みが引かないので整形外科にいった。レントゲン検査の結果、右足首の骨折と診断された。手術で骨を固定し、経過観察で現在通院中。

このように状況で事故が発生したかき
を記入目録に記入願います。

| | |
|----------|---------------------------------------|
| KYTの実施状況 | 毎年4月に安全啓発講習会を実施している。当日も事前に「KYT」を実施した。 |
|----------|---------------------------------------|

〆 令和5年1月25日

KYTの実施状況 毎年4月に安全啓発講習会を実施している。当日も事前に「KYT」を実施した。

3

子ども会危険予知トレーニング

KYT (危険予知トレーニング) とは

- (1) 危険 (K)・予知 (Y)・トレーニング (T) の頭文字
- (2) 安全を確保: 「危険を予知」「危険を回避」
参加者全員でチームワークや感受性を高め、
みんなで危険を発見し、対策を考え合い、
理解し合って行動するためのツール
- (3) KYTは日本人が考え育てた (住友金属)
(中央労働災害防止の提唱、ゼロ災害を目標に進めている)
- (4) 子ども会では昭和60年から導入
- (5) 危険予知トレーニングは安全教育の一部

子ども会危険予知トレーニング

具体的事例 → 抽象化 → 一般化と展開

第1ステップ

危険の発見

…どんな危険が隠れているか

第2ステップ

特に重要なものは

…危険のポイント

第3ステップ

具体的な対策

…私ならこうする

第4ステップ

行動目標を決める

…私たちはこうする → スローガン化

5

子ども会危険予知トレーニング

KYTの効果

- ・簡単で効果が大きい
- ・自らの判断で危険回避ができる
- ・組織の中で、共通認識を育てる
- ・上の年代の意識を、下が接し学び成長する
- ・経験の共有化ができる
- ・グループ活動の訓練になる

6

子ども会危険予知トレーニング

【第1ステップ】(危険の発見)

どんな危険がひそんでいるか

- ・危険要因はそれがひきおこす現象を想定
- ・『〇〇(対象)が〇〇(要因)なので〇〇(結果)になる』
を、ポストイットに書き出しましょう
- 例:『左手の指がナイフの前に出ているので指を切る』
- ・全員参加でお願いします

7

子ども会危険予知トレーニング

【第1ステップ】(危険の発見)

ブレインストーミングの4原則

- ① 他人の発言を評価、批判しない
- ② 発言は質より量
- ③ 自由に発言
- ④ 他人のアイデアに加工して発言してもよい

- ・議論はしない
- ・全員がどんどん発見して発言して書き出す
- ・気がついたことを遠慮なく発言する
- ・会話をすることでアイデアがたくさん出ます

8

子ども会危険予知トレーニング

【第1ステップ】(危険の発見)

危険要因の着眼点

- (1) 人の行動
- (2) 場所の問題
- (3) 用具の危険
- (4) 服装の問題
- (5) 子どもたちの心理状態
- (6) 子どもの体力

9

子ども会危険予知トレーニング

【第2ステップ】(特に重要なものは)

これが危険のポイントだーウェイト付け

危険項目を

- ①書き出したポストイットをグルーピングする
- ②上から順番に読み上げて内容を確認
- ③特に重要な項目を2つ選択し赤◎をつける
- ④全員起立、赤◎の2項目を、指差唱和する
「左手の人差し指がナイフの前に出ているので、指を切る ヨシ！」

ウェイト付順位

- (1) 生命に危険を及ぼす
- (2) 重大事故につながる

10

子ども会危険予知トレーニング

【第3ステップ】(具体的な対策を立てる)

- ①赤◎を付けた2つの項目に対して、『予防、防止』につながる対策考えましょう
- ②1つの項目に対して、
『あなたならどうしますか？』
『私ならこうします。こうする必要があります』
など会話しながら2~3の対策をポストイットに書き出す

11

子ども会危険予知トレーニング

【第4ステップ】(目標設定)

私達はこうするー実行する行動目標を決めるー

- ①第3ステップで出した1項目あたり2~3個の具体的な対策の中で『必ずしなければならないこと』を重点項目として決め、1つ赤※印をつける
- ②赤◎と赤※を絞り込み
その項目をスローガン化し行動目標とする
- ③グループで決めたスローガン(グループ目標)を全員起立して指差唱和する
『刃物の使い方をマスターして、ケガをしないようにしよう ヨシ!』

12

子ども会危険予知トレーニング

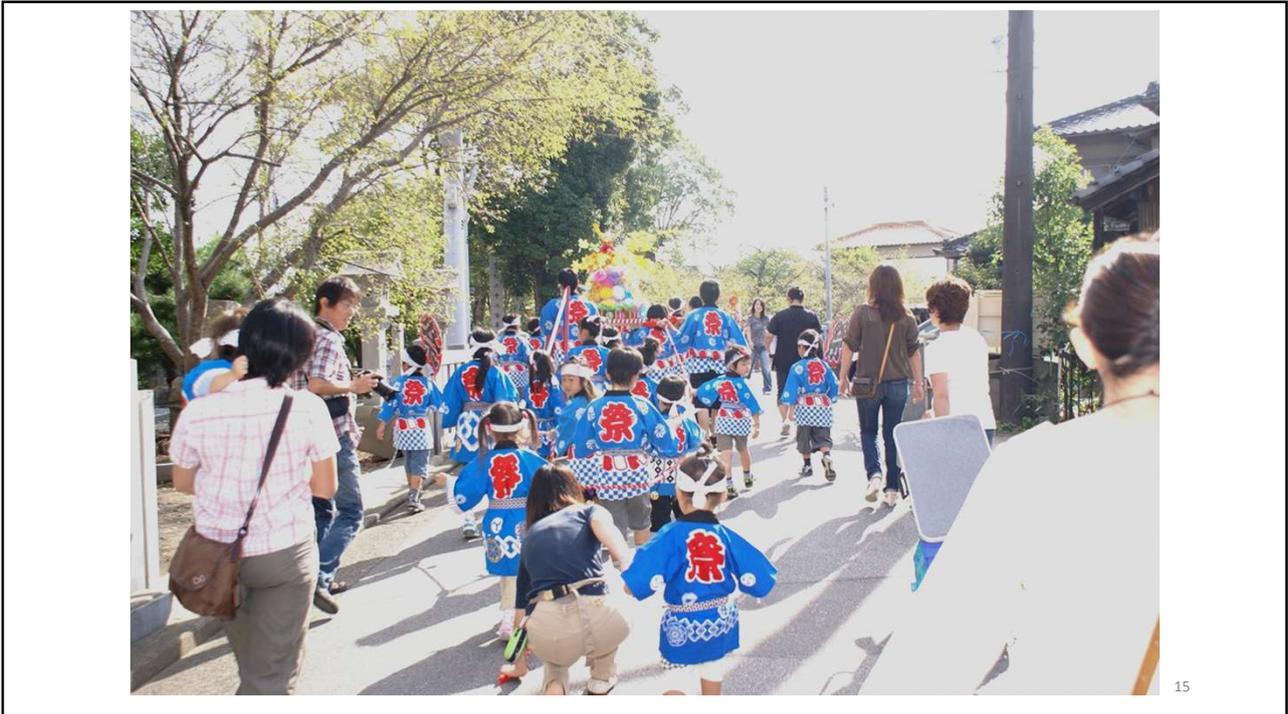
グループワーク

- ①まずは自己紹介をしましょう
- ②司会進行をしてくれる人を決めましょう
- ③ポストイットを整理して並べ替える人を決めましょう
- ④発表してくれる人を決めましょう

13



14



15



16



17



18

